

## 郷土出身者便り



御尊堂皆様御健勝お慶び申し上げます。

本日公民館発行の「56ひろば大代」御送り頂き、誠に思いがけなく、深く拝見致しました。

皆様の文章は簡にして、要をえている点で敬服致しました。

何年か以前より郷里に帰らず、誰にもお会いする事なく、未だ入院致している次第です。

病院は八万坪の土地に建設された大病院で、内容・設備・外観共に東洋一であります。

文中、下垣貞義氏の大江高山は大変興味ある発見であり、大代町の人にして知らない人が大部分と思えます。私も是非一見致したいと思いをはせていますが、及ばぬこいの滝登りに終るで

しょう。

私は、大代町の人々に誇りを以って自慢して頂いてよいと思う足跡を、日本一の富士山頂奥宮に残したのは大代町の日向俊馬という人物の実跡であります。

富士山には、元総理大臣佐藤栄作の奥さんがキリスト像を、マリア会々長としてマリア像の建立を申し出られたが、何れも拒否され、大企業会社から観光目的の申請書に五百万円の現金を添えての申請も全部断られた。

日向の申請した太陽の化神天招光大黒天のみが認められるに付いての経過については、天招光大黒天由来記を参照されるようお願い致します。

富士山は日本国土の中央に位置し、聖徳太子の登山、日蓮大上人の三大誓願、源頼朝、徳川家康、横山大観等、文人墨客で有名である事は皆様ご存じの通りであります。

昭和三十八年八月、私の足跡も之に加えられ、後世に語り伝えられる事に成功致しました。

一億国民誰も着想企画し得ざる太陽の化神を富士山頂・奥宮に祭祀し得た

るは、大代町山田出身の日向である点であります。

右の外書き残す事の二ツに、日蓮大上人が登山を志され、百日間六合目うばがふところにて待期されたるも、天候に拒まれ、遂に下山された遺跡がある。

日向は上人のお志を継いで法華経の経文、一石に一字を謹書し会員と協力し太平洋の白石六万九千三百八十四個を頂上向大宮にて、お清めを受けしや虎辺より内院（火口）に投入したる実跡は、富士山の有る限り歴史に残る聖業と受け止められています。（以下略）

日向 俊馬

厳寒の候益々御健勝のことゝ存じます。

さて御要望によって駄文ながら、少々ためてみました。御笑覧いただければ幸いです。私こと四月には広島へ転勤の予定で、それまでは表記住所にあります。もし「ひろば」の発刊がありましたら、こちらへお送りいただければ幸甚に存じます。

それ以後は広島住所で結構ですの  
よろしく御願ひ致します。

スタッフの皆様へよろしく御伝え下  
さいませ。

一月七日

松江 高崎 和道



拜復 梅の花も開き三月ともなれば暖  
かく、しのぎやすく成りました。

先日の資料を読ませて戴きました。  
アイデアとしては色々とは話は出来ま  
すが、いざ実行と成れば大変な事で、  
私共東京も何等かの方法で計画を成功  
させなければと考えて居りますが、病  
気をしてから一寸気力が無くて前程、  
充分な協力的勢が取れるかと、ぎねん  
に思つて居ります。

何事も健康が第一としみじみと思う  
今日此の頃です。四月此の件に就いて  
役員さんを集つて戴き、協力的勢につ  
いて話し合う予定です。

東京として役員より会員にさそいか  
ける、会として葉書で全会員に呼びか  
けると云う事に成るかと思われませう。

米原光義

早苗を渡る風も時々ひんやりとして  
心持良い季節となりました。

先日は「ひろば大代」お送りいたゞ  
きありがとうございました。

大代に参りまして、もう二十五年余  
にもなりますが、近い事もあり忘れる  
事はありません。時々会う故郷は大変  
な変わり様も感じつゝ、変らざる事の何と  
多い事かと思ひ、皆様のお力の大きい  
事を感じいたします。

どうか呉々も健康に気をつけられて  
益々の御発展をお祈りいたします。

今の予定では九月頃、消費者の集い  
から地区学習をお願いしていますので  
何かお役に立てるとよいと思つていま  
す。

先ずは御礼までに。主人よりも山々  
よろしくと。  
かしこ

大田 山根 揚子

先日は大代公民館の八ひろばV御送  
りいただき思ひぬ郷里の便りとして読  
ませていただきました。

私は若いときから大家を出ており、  
最近は何年か一度か二度、墓参に帰る程

度です。今では道で逢う方々が、どこ  
の家の若い衆かわかりません。だんだ  
ん浦島太郎になつてゆくのは寂しいも  
のです。それでも「ひろば」の皆さん  
の名前から、およその想像で、どの  
誰だろかと分かるような気がします。

失礼な言葉かもしれませんが公民館  
の運営費は、たいした予算ではないで  
しょう。その中で、こうして郷土出身  
の私たちに送っていただいた通信費だ  
けでも可成りの負担であつたろうと思  
います。切手代位は当方で負担させて  
頂かねばと思つています。

先ずは御礼まで申しあげます。

五月三十一日

益田市 高崎

楳

東京の新緑もふるさとのそれを思い  
浮かべる鮮かさで心を和まされます。  
昨日は「伝説大江高山」と「ひろばNO  
76・77・78」と元旦の「寄書」有難う  
ございます。ふるさとの繁栄を願つて  
首都に生活し乍らも心の基盤は大代に  
在りて地域での連帯を深めて生活した  
いと励んでいます。